

愛こそはすべて

校長 武井 正明

今年度初の第1回学校運営協議会。

どうしても今年度は、より具体的に前進したい、実効性のあるものにしたいという思いが収まらない。ギリギリまで迷って前日夜になって一気にイメージが湧いた。

まず会場の会議室を校長室に変更した。出席者は総て揃って11人。ならば校長室の近い距離で、率直に意見交換したい。私の描いている吉中の学校づくりの方針をホワイトボードにぶつけ、それを基にコミュニティスクールとして、学校と地域とが互いに補完し合う「具体は何か?」を見出したかった。

内容も当初はスローガンづくりであったが、先ず具体。スローガンに関わるキーワードはその後の価値づけの過程で出てくればよい。担当の内山主幹教諭には直前の変更で、随分ご面倒を掛けてしまったが私たちは仕事。委員の皆様は大切な自分の時間を削って来られる。それも吉中愛にあふれた方ばかりだ。できる限りのご意見を戴こうじゃないか。

そして協議会は始まった。学校づくりについて、それぞれに主義主張をお持ちだ。和やかにシャンシャンといった流れではなく、互いの「学ぶ吉中」とは? 「鍛える吉中」「心の吉中」持論をぶつけ合った。こういう思いのある真剣な議論は大歓迎だ。

あっというまに1時間半が過ぎた。

そして皆さんが共に頷いて下さったのは「教育の総ての基盤は『愛』なのだ」というところ。私が大事にしている「吉中愛」に賛同いただけただけが何よりも心強かった。

今回の協議を協議で終わらせたくない。必ず繋げて吉中生のために生かしていかないと。特に滝本勝則地域コーディネーターからは子どもではなく、管理職や学年主任に対して、ご自身の会社経営のノウハウを基に組織マネジメントの知見を戴きたい。また学識経験者として渡辺淳前学校評議員からは、教職時代からの幅広い人脈を吉中生のために、ひとつの形に活かしていただけたらと、私の勝手な発想は広がっていくばかりだ。

次の協議会は8月21日。充実した進捗状況が報告できるように日々励むのみだ。

帰途車中のニュースで、35年間「弥彦むすめ」を育ててこられた枝豆農家の方が取り上げられていた。その時のBGMが、ビートルズの「愛こそはすべて」…そう、枝豆も子どもも同じ。目を離さず、手間暇かけて、愛をもって育ててこそよく育つ。

♪All you need is love, all you need is love, Love is all you need
君が必要なものは愛、君が必要とするのは愛なんだ、愛こそすべてさ